

## 日本・パラグアイ共同声明

2014年6月25日、オラシオ・カルテス・パラグアイ共和国大統領の訪日に際し、安倍晋三日本国内閣総理大臣とオラシオ・カルテス・パラグアイ大統領は、二国間の伝統的友好関係を改めて確認するとともに、協力促進の観点から以下の共同声明を発出した。

1. 安倍総理とカルテス大統領は、両国間の伝統的な友好協力関係が、政治、経済、経済協力、文化の各分野において、順調に進展していることに満足の意を示した。
2. 安倍総理は、カルテス政権の下、パラグアイ政府が行っている貧困撲滅、民主主義の強化、汚職との闘い、財政責任、社会的包摂を伴う経済の安定と発展の達成という諸改革を高く評価した。また、諸改革の継続性を確保するために、パラグアイ政府による取組を引き続き支援する意思を表明した。これに対し、カルテス大統領は、日本政府の支援に対し謝意を表明した。
3. 安倍総理は、国際協調主義に基づく「積極的平和主義」の立場から、地域及び国際社会の平和と安定及び繁栄の確保にこれまで以上に積極的に寄与していくとの決意を表明した。カルテス大統領は、広く認知されている日本の平和的な方針を評価しつつ、日本が「積極的平和主義」によりアジア太平洋地域と世界の平和と安定へ向け更に貢献しようとする取組への強い支持を表明した。
4. 安倍総理とカルテス大統領は、両国間の高い水準の政治対話及び右が果たす重要な役割を強調するとともに、同対話の継続性を再確認した。また、両国議会間の交流促進の重要性につき一致した。
5. カルテス大統領は、2020年の東京オリンピック・パラリンピックの開催を歓迎し、国際的なスポーツの促進に係るイニシアチブ「Sport for Tomorrow」への協力の意図を表明した。
6. 安倍総理とカルテス大統領は、近年のパラグアイ経済の継続的な成長及びマクロ経済の安定に支えられた新しく活力に満ちたパラグアイの投資環境につき満足をもって留意した。カルテス大統領は、投資に対し法的安定性を与え、パラグアイのインフラ整備計画への日本企業を含む外国企業の参加を容易にする官民連携法の施行の成果を強調した。
7. カルテス大統領は、近年の日本企業のパラグアイ進出の増加を評価するとともに、パラグアイ政府が、日本企業による更なる投資の拡大に向けて、必要な保障を与えるための取組を行っている旨表明した。
8. 安倍総理とカルテス大統領は、パラグアイへの投資促進を目的とするミッションの日本訪問を歓迎するとともに、両国間の投資促進に向けた具体的な取組を行っていくことで一致した。
9. カルテス大統領は、パラグアイの地理的状況及びパラグアイ領土を含む域内の統合イニシアチブを念頭に、パラグアイが大西洋と太平洋の間の重要なリンクに変貌すべきである旨表明した。これに対し、安倍総理は、パラグアイの内陸開発途上国としての条件を認識し、またパラグアイの地理的特徴に留意しつつ、パラグアイ政府を支援する意図を表明した。

10. 安倍総理とカルテス大統領は、以下の交換公文及びパラグアイ政府と国際協力機構との間の借款契約への署名を歓迎した。
- コロネル・オビエド市給水システム改善計画(交換公文)
  - パラグアイテレビ番組ソフト整備計画(交換公文)
  - 東部輸出回廊整備計画(借款契約)
- これに関し、カルテス大統領は、以上の分野における日本の協力に感謝の意を表明した。
11. 安倍総理とカルテス大統領は、パラグアイの日本人移住者及び日系人がパラグアイの発展と進歩に貢献していることを評価した。安倍総理は、移住者・日系人がパラグアイの官民により温かく迎えられてきたことに深い謝意を表明し、カルテス大統領は、パラグアイ政府として、引き続き日本人移住者・日系人を支援していくことを約束した。
12. 安倍総理とカルテス大統領は、両国における記念行事の開催を通じ、2016年のパラグアイへの日本人移住80周年を特に重視することで一致した。
13. 安倍総理とカルテス大統領は、世界の平和と安定の維持に向けた国連の重要性及び役割を認め、国連改革、人権、軍縮・不拡散、地球環境・気候変動といったグローバルな課題に対して協力して取り組むことの重要性を再確認した。
14. 安倍総理とカルテス大統領は、民主主義、人権、法の支配という基本的価値の重要性を再確認した上で、いかなる状況においても力を背景とした領土又は海洋に関する権利を主張するための一方的な試みがあってはならないとの認識を共有し、国際法に則った紛争の平和的解決の重要性を強調した。
15. 安倍総理は、北朝鮮による累次の安保理決議に反する核兵器及び弾道ミサイル開発の継続について深刻な懸念を表明した。これに対し、カルテス大統領は、地域と世界の緊張を生むそれらの活動に遺憾の意を表明するとともに、安保理決議の完全な遵守の重要性を強調した。安倍総理とカルテス大統領は、国際社会が有する人道上の懸念である拉致問題の解決に全力を挙げて取り組むことで一致した。
16. 安倍総理は、「女性が輝く社会」に向けたビジョンに言及し、国際機関・国際社会との連携を強化し、女性の活躍及び社会進出の推進に貢献していく決意を表明した。これに対して、カルテス大統領は、日本の取組を高く評価し、この分野における協力関係維持の必要性と重要性を強調した。

カルテス大統領は、安倍総理及び日本国民のパラグアイ側一行に対する歓迎及び儀礼に対し感謝の意を表明した。

2014年6月25日、東京